



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.7

平成30年5月11日

文責：校長 伊藤 孝行

新潟市の小2女児の事件から。

大型連休明けの5月7日(月)に、新潟市内の小学2年生の女子児童が、事件に巻き込まれ亡くなってしまいました。

亡くなられたお子さんの保護者の方や関係者の方々を思うと胸が痛みます。子どもたちを預かりする立場として、決して他人事としてとらえることのできない問題です。

新潟市の事件の全容の解明はなされていませんが、報道を見る限りでは事件当日は以下のような様子でした。

15:00頃・女児の下校

16:20頃・母親が学校に帰宅していないと連絡を入れ、教職員約20名で捜索

17:00頃・学校から警察に通報するよう言われ、母親が警察に通報、警察が100人態勢で捜索

22:30頃・発見される

この時間経過を見て感じたことは、警察への通報がもっと早かったら、最悪のケースには免れたのではないかとことです。

事件解決は初期対応が大切です。少しでも不安を感じたら、**まず警察へ連絡を入れてください。犯罪捜査のプロは警察です。**

通報が間違いだったとしても、警察から注意を受けるようなことはありません。臆することなく警察へ連絡してください。

事件や事故の疑いがある学校に連絡を頂いた際に、「警察へも連絡してください。」と言うのは、初期対応を早く進めるためですのでご理解ください。

学区内でも不審者の出没や声掛けが発生しており、とても不安を感じています。

今回の事件も含め、不審者等の事案は、自宅周辺で多く発生しています。ご家庭におかれましては、自宅周辺の危険箇所(暗い、死角になる場所等)について、お子さんに注意して下さるようお願いいたします。

大きな事故につながる前に！

1件の大事故が起こるのは偶然ではなく、それにつながる幾つかの不具合や危機があったからのことだと言われています。

過日も、一歩間違えれば子どもが事故に巻き込まれそうな「ヒヤリ」を目撃しました。場所は、朝の正門前の道路です。



送りの車から降りた子どもが道路を横断しようとした時、後続の車が迫っていて大変危険な状態でした。

4月以降、同様のことが数回起こっていて事故の危険性を強く感じています。

校庭東側の一方通行の道路でお子さんを降車させるのは大変危険なことです。安全な場所での乗降を再度お願いします。

緑の羽根募金へのご協力に感謝。



緑の少年団の活動の一つに緑の羽根募金活動があります。団員の募金の呼びかけに多くの子どもたちが応え、募金をしてくれました。ご協力に感謝申し上げます。

あした天気なあれ!!!



子どもたちが良いコンディションの中で精一杯頑張り、楽しめる運動会になりますよう、みんなで明日の晴天を祈りたいと思います。